

## トランス封止用樹脂

# アルファレジン EPX-810

EPX-810 は、大容量のトランス等コイル封止剤です。

従来の封止剤に比べ、低温硬化が可能で、硬化時の発熱が少なく、低収縮で、硬化物は柔軟性に富んでいます。このため、製品のクラックがおきにくく、製品の歩留まりが向上します。

### EPX-810 の基本性状

|                      |     | EPX-810A 主剤 | EPX-810B 硬化剤 |
|----------------------|-----|-------------|--------------|
| 外観                   |     | 白色液状        | 黒色液状         |
| 主成分                  |     | 変性エポキシ樹脂    | 変性脂肪族ポリアミン   |
| 粘度 cps/25℃           |     | 9200        | 9800         |
| 比重                   |     | 1.63        | 1.56         |
| 配合比（重量）              |     | 100         | 100          |
| 可使時間 25℃             |     | 約 4 時間      |              |
| 硬度 ショアーA             |     | 約 92        |              |
| ゲルタイム                | 40℃ | 6 時間以上      |              |
|                      | 50℃ | 約 6 時間      |              |
|                      | 60℃ | 約 3 時間      |              |
| 最高発熱温度<br>200gr スケール | 40℃ | 46℃         |              |
|                      | 50℃ | 56℃         |              |
|                      | 60℃ | 69℃         |              |

### EPX-810 の使用方法

- ① 主剤、硬化剤をはかりにて正確に計量し、混合してください。混合は、主剤、硬化剤のそれぞれの色が均一になるまでよく混合してください。このとき、製品中に気泡が入らないよう真空脱泡してください。40℃程度に加温すれば粘度が下がり、作業性が向上します。
- ② 注型後加温してください。50℃で約 15 時間加熱あるいは、60℃で 7 時間加熱を目安と

してください。出来るだけ低温長時間硬化することによって、硬化時の収縮、ひずみを抑え、クラック発生の防止に努めてください。

- ③ 容器は必ず密栓し、風通しのよい日陰に保管してください。

---

アルファ化研株式会社

愛知県日進市浅田町下小深田 6-4

TEL052-804-4878 FAX052-805-3878